



補習校だより

平成26年度 第10号

平成26年6月7日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

中間テスト

校長 永井 晋

今週は中間テストが予定されています。日本では中学校で5月頃に中間テストを行います。中1の生徒にとっては中学校に入学して初めての定期テストで勉強の仕方からテストの受け方まで何も知りません。従って中1の担任は学級活動の時間などを使いテストについての指導を行います。テストの目的から始まり、勉強の計画の立て方、勉強の仕方、テストの受け方、テストの返却について、テスト終了後に行うことなど指導内容は多岐にわたります。定期テストは自分がこれまで学習したことがどれだけ身に付いているかを知るのが目的です。もちろん成績の資料にもなりますが、成績はテストだけで決まるものではありません。勉強の計画を立てるために「学習計画表」なる物を配布し、大体2週間分くらいの学習の内容や実施内容、時間などを記入させます。勉強の方法については、各教科担当の先生から個別にその教科に沿った学習方法を教わります。テストの受け方は学校ごとに違いますが、きちんと伝えておかないとテストの際「先生、これで合ってますか」とか「この漢字はなんて読むんですか」などと質問する生徒が続出します。返却の際にも、机上は問題用紙と赤ペンだけにして不正しにくい環境にしたり、採点ミスについての訂正方法などを指導します。そして、テストは自分の実力を知るために行ったのだから、実力になっていなかった部分を復習する必要性を指導します。そうでないところは身に付いていないと分かっても放っておくと一生身に付くことはありません。

補習校においても全く同じで、現地校が休みに入るこの時期だからこそ、これまでの学習の復習をテスト結果を元に行なって欲しいと思います。小学生については定期テストは行いませんが、普段の授業で行っているテストや個人面談から保護者の方がお子様の身に付いていない部分を探して復習させてあげて下さると効果が上がると思います。

